

【第3期坂戸市地域福祉計画 取組一覧】

【基本目標3 支え合いの仕組みづくり】  
ボランティア活動が活発に行えるようにします

資料1-1  
①令和6年度実績報告

(1) 地域を担う人材の育成

(計画書P73)

No.	主な取組	①年度計画					担当課・所	事業内容	②令和6年度実績(実施内容又は実施しなかった理由)	③課題	④課題への対応策・今後の方向性	⑤指標(項目)・実績							
		R2	R3	R4	R5	R6						指標(項目)	R2	R3	R4	R5	R6	評価	(R6目標)
26	自分の得意分野における活動の企画、呼びかけ	●	●	●	●	●	社会教育課	市民が講師になった「さかど市民塾」を実施し、講師が「教える生きがい」を持ちながら、併せて市民に学習機会を提供します。	さかど市民塾を実施しました。	講師が固定化していることに伴い、実施講座も固定化している傾向が見られます。	広く市民に周知するため、積極的なPRを行うよう努めます。	①さかど市民塾の講座数 ②さかど市民塾の受講者数	①20講座 ②163人	①20講座 ②198人	①22講座 ②202人	①32講座 ②320人	①30講座 ②329人	A	①30講座 ②220人

(2) 地域ネットワークの強化

(計画書P75~76)

No.	主な取組	①年度計画					担当課・所	事業内容	②令和6年度実績(実施内容又は実施しなかった理由)	③課題	④課題への対応策・今後の方向性	⑤指標(項目)・実績							
		R2	R3	R4	R5	R6						指標(項目)	R2	R3	R4	R5	R6	評価	(R6目標)
27	坂戸市見守りネットワークの充実	●	●	●	●	●	高齢者福祉課 障害者福祉課 福祉総務課 市民健康センター	異変や虐待が疑われる対象者が、安心して生活を送ることができる地域を形成することを目的とした坂戸市見守りネットワークの充実を図ります。	見守りネットワークの関係団体及び協力団体に対して、対面による研修会を全体会として1回実施しました。	心配な高齢者を支援に結び付けるために、引き続き関係機関との連携を強化する必要があります。	年に1度研修会等を実施し、関係機関との連携強化を図ります。	見守りネットワークの登録団体数	97協力団体	106協力団体	106協力団体	106協力団体	101協力団体	A	100協力団体
28	民生委員・児童委員による見守り活動の支援	●	●	●	●	●	福祉総務課	市民くらし安心カードを作成・提供し、民生委員・児童委員による見守り活動を支援します。	従来の「くらし安心カード」を、令和6年度より「民生委員・児童委員緊急連絡カード」へと名称と様式を見直し、5月を新しいカード配布強化月間とし、広報へ紹介文を記載しました。	近年の闇バイトや訪問詐欺などで、戸別訪問へ抵抗を感じる高齢者の方もおり、見守り方法について、対面だけでなく、インターフォン越しでの会話や、ポスティング等工夫が必要となります。また、個人情報の観点より提出を控える方も多くいます。	適宜民生委員と協議し、「民生委員・児童委員緊急連絡カード」の効果的な活用方法について、協議してまいります。	民生委員・児童委員による訪問日数(年間延べ日数)	12,472日	14,767日	14,465日	12,483日	16,073日	A	継続

(3) ボランティア活動への支援の充実

(計画書P78~79)

No.	主な取組	①年度計画					担当課・所	事業内容	②令和6年度実績(実施内容又は実施しなかった理由)	③課題	④課題への対応策・今後の方向性	⑤指標(項目)・実績							
		R2	R3	R4	R5	R6						指標(項目)	R2	R3	R4	R5	R6	評価	(R6目標)
29	老人クラブ連合会、各単位老人クラブによる地域貢献活動への支援	●	●	●	●	●	高齢者福祉課	老人クラブ連合会、各単位老人クラブによる登下校時の見守りや地域のパトロール、清掃活動、交通安全教室等の地域活動に対して補助金を交付するなどの支援を行います。	登下校時の見守りや地域のパトロール、清掃活動、交通安全教室等の開催など、日頃からの継続した地域活動を通じ、地域貢献事業推進の支援を行いました。	令和2~4年度と比べて活動回数は増加しましたが、単位老人クラブのクラブ数及び会員数が、役員の高齢化等により減少傾向にあることがあげられます。	引き続き、補助金を交付するなど活動に対する支援を行っていきます。また、会員数増強に向けた周知、啓発を図ります。	活動件数	3,210件	3,673件	3,530件	3,719件	4,224件	A	4,200件
30	交流イベント等の充実	×	×	×	●	●	障害者福祉課	市民、障害のある人、ボランティア団体とイベントでの交流を通じて、福祉の理解と意識の向上に努めます。	市民、障害のある人、ボランティア団体とイベントでの交流を通じて、福祉の理解と意識の向上を図るため、令和6年11月9日に「福祉であいの広場」開催した。	ボランティアの高齢化に伴いボランティア団体の参加者の減少が課題となっています。	イベント及びボランティア募集の周知に努め、より多くの市民の参加を目指します。	参加者数	—	—	—	635人	633人	B	